

暮らしを支える「水の循環」



「水の日」とは、毎年8月1日に定められた、健全な水循環の重要性について国民の理解と関心を深めることを目的とした日です。水の日から1週間は「水の週間」として、全国各地で様々な活動が行われています。「水の日」を機に、私たちの暮らしを支える水道・下水道について、一度考えてみませんか。



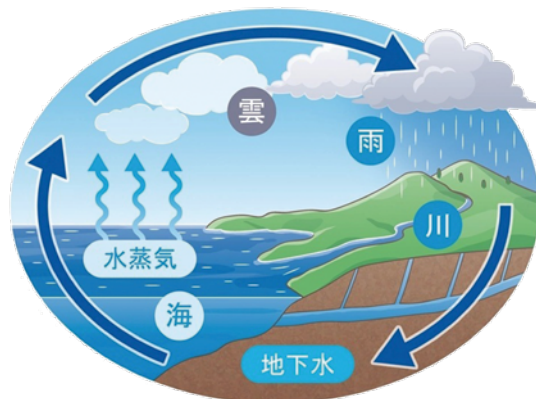
政府広報

政府広報オンライン『飲み水はどこから？使った水はどこへ？暮らしを支える「水の循環」』を加工して作成



水の循環とは

海や陸の水が蒸発して雲になり、雨や雪として地上に降り、川や地下水となって再び海へ戻ります。この繰り返しを「水の循環」と呼びます。私たちが毎日使う水道水は、主に川の水を水源としており、この水の循環の一部を利用してつくられています。



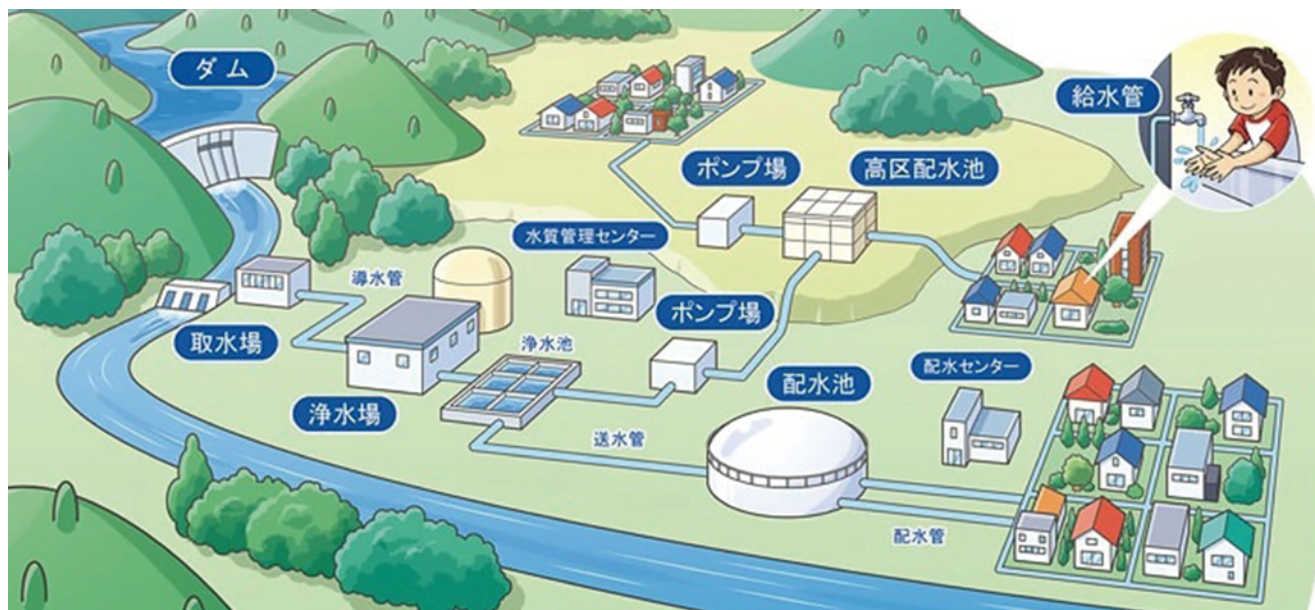
水資源を守るには？

近年、豪雨災害や、渇水の頻発、水質の悪化等、水の循環にかかわる様々な問題が起きています。その背景には、地面がアスファルト等に覆われて雨水が地下にしみこみにくなったこと、地球温暖化による気候の変化、手入れされていない森林や田畑が増えて森林のかん養機能*が低下していること等があると言われています。

※かん養機能：土壌等が降った雨水を貯える機能。



水源から安全な水が届くまで



1. ダム：水をためて、大雨や日照りに備えて水の量を調整します。
2. 浄水場：ダムや川の水をきれいにし、安全な水道水をつくります。
3. 配水池：浄水場でつくられた水道水を、一時的に貯めておく池です。
4. 配水管と給水管：配水池から水道局が管理する配水管を通り、蛇口につながる給水管へ水道水を運びます。



水資源を大切にする取り組み 普段からできる SDGs ！

☑ 水道水を利用しよう！

ペットボトルの代わりに水道水を飲むと、プラスチックごみや、製造・運搬にかかる CO2 を減らせます。



☑ 下水道を正しく使おう！

洗剤を使いすぎないこと、お皿の油汚れをふき取ってから洗うことは、川や海を守る大切な一歩となります。

